

(2) 施策の方針

第3章 都市環境を保全・創造するまち

分野(3) 生活環境

施策の方針① 3Rの推進・ごみの適正処理

＜目標とすべきまちの姿＞

大量消費・大量廃棄社会からの脱却についての市民等の理解が浸透し、家庭系ごみ及び事業系ごみの発生量は減少しています。

ごみ焼却施設は計画的な更改、改修が進み、ごみの焼却効率が上がり、省エネルギーかつ環境に配慮した資源の処理が可能となっています。

ごみの発生抑制、再使用、循環資源の再生利用が市民生活に根付き、市民、事業者、市が協働して、安定的で着実なごみ処理が行われています。

1 事業評価結果一覧表

環境部

評価対象事業名		決算値 (千円)	総事業費 (千円)	26年度 職員数 (人)	今後の方向性	
整理番号	事業名				事業内容	予算規模
環境-01	環境運営事業	2,295	28,716	3.5	b	B
環境-04	環境運営事業	5,788	13,741	1.0	b	B
環境-05	ごみ収集事業	546,589	602,262	7.0	a	A
環境-06	ごみ資源化事業	585,477	621,267	4.5	b	B
環境-07	3R推進事業	47,363	110,989	8.0	b	B
環境-09	環境運営事業	849	3,215	0.3	b	B
環境-10	名越クリーンセンター管理運営事業	2,801,567	2,809,455	1.0	b	C
環境-11	最終処分事業	213,851	221,739	1.0	b	A
環境-12	新焼却施設整備事業	9,735	19,201	1.2	b	B
環境-13	ごみ処理広域化計画推進事業	101	1,679	0.2	b	B
環境-24	名越クリーンセンター管理運営事業	273,534	353,615	10.2	b	B
環境-25	今泉クリーンセンター管理運営事業	198,768	263,743	8.2	a	A
環境-26	名越クリーンセンター収集事業	14,776	445,013	54.8	b	B
環境-27	今泉クリーンセンター収集事業	11,703	259,719	31.3	b	B
環境-28	笛田リサイクルセンター管理運営事業	140,416	166,728	3.5	b	B

2 平成26年度末の目標

環境部

「鎌倉市ごみ焼却施設基本計画」を策定するとともにごみ処理基本計画(中間見直し)再構築に基づくごみ減量施策の進行管理をアクションプログラムにより行う。また、家庭系ごみ有料化の平成27年度実施に向け、説明会の開催等さまざまな周知方法により円滑な導入を図る。

3 平成26年度の取組の評価

環境部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切	□ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切	□ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切	□ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切	□ 要改善

平成27年4月1日からの家庭系ごみ有料化実施に向けた準備を行うとともに、円滑な導入を目的として説明会の開催等市民に対してさまざまな周知活動を実施した。また、「鎌倉市ごみ焼却施設基本計画(案)」を策定し、新たなごみ焼却施設建設に向けて業務を実施した。

4 今後の方向性

環境部

ごみの減量化は喫緊の課題であり、家庭系ごみ有料化施策を中心に各施策を推進し、ごみの発生抑制を促すとともに、焼却量削減を目指す。また、新たな焼却施設建設に向け、継続して業務を実施していく。

5 平成27年度末の目標

環境部

平成27年度の年間ごみ焼却量29,923トンの達成に向け、引き続き事業系及び家庭系の各施策の啓発活動を実施するとともに、新たな資源化の実施や事業の効率化を目指す。また、「鎌倉市ごみ焼却施設基本計画(案)」に対し、パブリックコメントを実施し、「鎌倉市ごみ焼却施設基本計画」を行政計画として位置付けていく。

鎌倉市民評価委員会の評価

1 評価できるところ

- ・27年4月実施の「家庭系ごみ有料化」に向けた諸業務を遂行し、そのスムーズな導入を実現した。(削減率:目標8%→4-6月実績18%)
- ・「ごみ焼却施設基本計画」を策定し、審議会答申を受けた。
- ・37年度に必要となる「新ごみ焼却施設」建設に向けた検討を進めた。
- ・重点事業である「名越CC延命化改良工事」(20億円規模)を実施し27年4月からの2炉稼働が可能となった。

2 課題・提言

- ・「家庭系ごみの有料化」は市民に減量化・資源化への意識を更に高めたと言える。今後とも「啓蒙活動」に注力していく必要がある。
- ・「効率的・安定的なごみ処理体制づくり」については技術的進化を見据え間断なき改善を希望する。
- ・リサイクル率が県内トップであり、この点を生かした施策に期待する。
- ・ごみ袋の金額が高額に設定されているが、今後値下げ等の見直しはないのだろうか。有料ごみ袋の収支計画や説明が必要である。
- ・当初予定の戸別収集の実施に向けて、行政の姿勢を示してほしい。